



JPI催しのご案内

2022
12

公益社団法人日本包装技術協会

— 2022年度の本催しについて —

2022年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日 時 ① 令和4年12月6日(火) 14:00～15:30 / ② 令和4年12月14日(水) 13:30～15:00
③ 令和4年12月16日(金) 13:30～15:00 / ④ 令和4年12月21日(水) 13:00～15:00
⑤ 令和4年12月22日(木) 15:00～16:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

① 12月6日(火) 14:00～15:30 JPI西日本支部主催

【テーマ】 デジタルプリントを起点としたビジネス展開について

2016年にIndigo20000を導入して以降、デジタルプリントの小ロット多品種・バリエーション機能を活用したビジネスを展開してきました。これらの事例とあわせて、トッパン独自に開発した強密着接着剤TOPMERによるレトルト・ボイル・電子レンジ対応やパッケージ通販サイトEASY ORDER PACKなど、デジタルプリントを起点としたビジネス展開の可能性についてご紹介致します。

【講 師】 凸版印刷株式会社 九州事業部 企画販促本部 販売促進部 生活系販促チーム

南 浩 紀 氏

② 12月14日(水) 13:30～15:00 JPI関西支部主催

【テーマ】 製品を安全に輸送するための輸送環境調査

包装貨物は、その輸送環境において振動、衝撃、温湿度など様々なハザードに遭遇することで、ダメージが発生する。製品を損傷なく安全に最終目的地まで運ぶためには、①ハザードに対応できる包装設計、②輸送毎のハザード監視、③ハザードの低減・抑制、が考えられる。これらの実現のために、まずは輸送環境調査による各種ハザードの数値化が必要となる。今回は輸送環境調査を実施するためのポイントととともに、実測データとその解析事例について紹介する。

【講 師】 神栄テクノロジー株式会社 システム事業推進部 部長

川 口 和 晃 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までお願いいたします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関する資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用するのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
- 申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

③ 12月16日(金) 13:30~15:00 JPI中部支部主催

【テーマ】 EC向けパッケージ エコ・クイック・ボックスの開発について

日本国内においてEC業界が躍進する中、依然成長を続けている。また、新型コロナの影響から、外出自粛・EC推奨により、ECの利用が徐々に定着化しつつある一方で、宅配運賃・燃料高騰等により物流コストが増加、ECに関わる各企業は物流コストを削減させるといった流れが続く。このことから当社では、物流コスト削減にあたり、資材費削減・梱包作業簡略化を目標として、パッケージの開発に取り組んだ。

【講師】 日本トーカーパッケージ株式会社 包装開発センター紙器包装技術グループ チームリーダー

今井 恵一 氏

④ 12月21日(水) 13:00~15:00 JPI本部主催

【テーマ】 新規包装材開発 紙発泡材

ソニーグループでは、数年前より新たな包装材の開発を行っています。昨今の環境破壊で懸念されるプラスチックの使用廃止に向けて、環境負荷ゼロを実現するためソニーグループにおいても包装材のプラスチック使用ゼロを目標とし、様々な包装材の環境対応を検討してまいりました。その中で今回、脱プラスチックを実施するために環境に配慮した緩衝材の開発に着手しました。本講演については、2021年11月に開催されました「包装技術研究大会」の内容の続報となります。

【講師】 ソニーグループ株式会社 コーポレートテクノロジー戦略部門 技CメカGp

田部井 有子 氏

⑤ 12月22日(木) 15:00~16:30 JPI本部主催

【テーマ】 発泡スチロールのリサイクル事情について

発泡スチロールは、優れた断熱性・緩衝性・形状の自由度などの特性により、魚箱・農産箱・緩衝材・断熱建材・盛土ブロック・クッション材など多様に使用されています。

発泡スチロール協会(JEPSA)は、前身の発泡スチロール再資源化協会(JEPSRA)、発泡スチレン工業会、EPS建材推進協議会の合併により2010年に設立され現在に至っている。JEPSRAは、1991年に創立され発泡スチロールのリサイクルに取組み、家電企業、家電販売店、会員企業との協力の下、回収ルートを確認した。特に会員企業とは自主的なEPS回収・再資源化拠点として「エプシープラザ」を設立しEPS回収の拡大を行った。現在エプシープラザの拠点は全国で131ヶ所となっている。2021年のEPS有効利用率は、92.0%と過去最高の数値となっている。

熱減容、インゴット化を主とするマテリアルリサイクルは53.8%、焼却炉による発電などのエネルギーリカバリーは38.2%となっている。リサイクルに関する過去からの取組みや、現在の事情について紹介する。

【講師】 発泡スチロール協会 専務理事

山田 一己 氏

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
- ・申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>